

## 平成30年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原児童館)

開催日時	平成30年11月15日(木)午後7時から午後9時20分 天気 晴
場所	向原児童館
町民参加者	男29人 (50代1人、60代以上28人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼上下水道課長、 総務防災課長、都市整備課長、定住対策課長、学校教育課長、事務局2人

### 出席者から出た主な意見や提案

#### 《テーマ：東山北駅周辺の今後の開発計画について》

○8年前に東山北 1000 まちづくり基本計画が作られており、それに基づいて色々進められている。改めて8年前の計画の内容を整理して、もう一度考えていきたいと思っている。

○向原児童館の向かいの道から上本村橋までの道の工事がどの程度どのように進んでいるか教えてもらいたい。

○自治会長研修会の際に町長からぐみの木松原先線の町道において、今年度行っていくという話があったが、どのように行っていくのか詳しく教えてもらいたい。

○新しく町営住宅を建て、そこから子どもが保育園に行く際には上本村橋を通過して向かうと予想される。出来れば人道橋を保育園から直接通してもらいたい。現在でも保育園の散歩の際に道路をよく使っているが、車が通るたびに止まっており、危険性を感じるため、今後住宅を建てるのであれば道の改善をお願いしたい。

○東山北駅のロータリーについて、雨宿りできるようなところや街灯などを整備するという話だが、地元の人にとってはそれにより不良の溜まり場になることを危惧している。整備することは構わないが、下本村の人を中心に説明会や意見交換の場を事前に設けてもらいたい。

○ぐみの木松原先線の工事について、元々は県が河川の管理用に作ったものであるが、道幅はすれ違いができるぐらいの幅にするのか。また、何のためにその道を整備するのか。下手をすると抜け道になり、騒音等の問題も出てくると思うため、事前に地域の住民に説明を行ってもらいたい。

○前耕地の尾先地区について、大きな道が1本しかないため、土手にあがる道を作って、防災にも役立てるといった計画があったと思うが、現在どのようなになっているのか。

○尾先地区は酒匂川と尺里川にはさまれており、開発を行って良いかどうか判断が難しいと考え

ている。水の対策が出来れば、宅地なども行っていけると思っている。

○向原地区のメイン道路となると県道しかない。新しく道路を作るという話もあるが、実際の車の動線を考えた場合に、今ある県道を使わざるを得ないと思う。県との話し合いの中で、県道を広げたり、新たな動線を作ったりといった話をしていると思うが、町としてどのような考えで今後の長期計画を考えているのか。

○大型車の通る道の調査については、具体的にどのくらいの期間が必要で、いつ回答が貰えるのか。

#### 《テーマ：広域避難場所開設の考え方》

○防災無線は良く聞こえるようになったが、サッシを閉めていると全く聞こえないお年寄りもいるので、個別的に対応している他自治体もあるが、町はどのように対応しているのか。

○防災無線が良く聞こえるという人もいるが、逆に以前から良く聞き取れないという人もいる。実際に「山北町からお知らせします」というのは聞こえるが、その後の内容が聞き取り出来ない状況である。

○防災無線のテレホンサービスについて、一斉にそこにかけて場合にちゃんと繋がるのか。回線が混雑し、話し中になることは無いのか。

○防災無線について、女性の声は良く聞こえるが、男性の声は聞き取りづらいように思う。人によって声が通りやすい人や通りにくい人がいる。

○今年の防災訓練は雨が降り、防災訓練を実施するかどうかについてトラブルがあった。防災無線での放送を「今日は町では防災訓練を実施しますが、具体的な実施につきましては自治会におまかせします」といった内容で行ったり、書面等で「最終的な判断は自治会で決定してください」といったものを出したりしてもらえないか。

○防災訓練の実施の判断について、自治会が判断するのではなく町が判断するものだと思うがどうか。

○広域避難場所の開設の考え方を教えてもらいたい。

○本村地区は防災訓練の合同練習の中で、山北高校に避難場所を開設して使わせてもらっているが、町から山北高校への対応について、どのような体制になっているのか。防災訓練の関係で山北高校と調整させてもらった際に、門の鍵の関係や体育館を借りる際の条件など全く内容が詰まっていないように感じた。村雨と下本村地区は山北高校へ一時避難しなければならないが、門の鍵はいつから開いているのか、夜間に起きた際はだれが指示するのかなどが全くわからない。

《テーマ：その他》

○松田方面から東山北駅へ向かう際の向原バイパスの信号に右折信号を付けてもらうように要望してもらえないか。

○最近に通学路を通らないで帰る子どもが非常に多い。通学路は現在無いのか。通学路があるなら学校としてちゃんと通学路を通して帰るように指導してもらいたい。

○ハザードマップに海拔を入れることはできないか。避難路は地区で勝手に決めるようにと聞いたが、参考にする資料が無いと決めることは出来ないと思う。

水害が起きた際には山北高校に避難することは出来ないと思うが、川村小学校や山北中学校に逃げるとしても、どのような経路で逃げれば良いのか資料が全く無いためわからない。

ハザードマップは時間雨量 93mm の想定で作成されており、それ以上の雨量があった場合には 50cm の浸水地域が多く出来てしまい、どこが本当に安全か判断できず、自宅に居たほうが安全という場合も考えられる。それを計算してくれと言われても、計算できるようなものではないため、何を元に判断すればいいかもわからない。